

ほとんどの子どもたちが初めて見る「焼き炭作り」。一晩かけてじっくりと行いました。そして、みんなが大好きな森の果物「ヤマブドウ」。低学年チームが作ったヤマブドウジャムのおすそ分けまでいただきちゃいました。石焼いもにもチャレンジしましたよ♪



滝野の森でたくさんさんの自然の恵みをいただきました



たきの森のがっこう

〔活動日〕 平成二十五年十一月九日～十日
〔天気〕 晴れ(時々大雨↓良い天気)
〔テーマ〕 間伐材で森の焼き炭作り

たきの森のがっこうもついに6時間目。今回は一泊二日の宿泊版です。盛りだくさんのプログラムを楽しみに朝を迎えると、とにかく寒い！今年一番の寒さでしたが、札幌駅でのみんなは相変わらずの元気いっぱい。さあ、今日の活動も頑張ろう！

今回のテーマは「炭作り」でした。普段使うことはあっても作ることではない炭。そもそも炭の材料って何だろう？そんなメンバーもいましたが、スタッフの説明と炭作りの練習を体験し、いざ炭作りにチャレンジ！窯の中に炭となる木材をびっしり並べて、さらに蓋の隙間を粘土ですべて埋めて、さらになんとその上から土を覆いかぶせて…すべてが初めての体験で、しかもかなりの力仕事のはずなのに、そこはさすがの高学年！全員で協力してあっという間に火入れまで完成してしまいました。ここから先はスタッフに手伝ってもらいながら、立派な炭になるように！とみんなが願いを込めて作業は終了です。

炭作りの他に、今回おおいに盛り上がったのがフォトアドベンチャー！渡される写真に写っている場所を捜し出し、そこにある課題を解いていくアドベンチャーゲームですが、高学年を2グループに分けて実施したところ、炭作り以上(笑)のチームワークを発揮してましたよ。これは解らないだろう、といった難題でもグループの中で役割分担をしてサクサク解決していく高学年チームの姿は頼もしいの一言でした。最終的には2グループともゴールしましたね。

ちなみに…炭作りにフォトアドベンチャーにと頑張った子どもたちは消灯後、あつという間に熟睡していましたよ！

二日目は朝から滝野は大雨。予定を変更して室内で野生生物を題材とした活動を行いました。楽しいゲームをしながら自然の中で動物たちがどんな風に生活しているのかを体験することができましたね。

今回の炭作りでは残念ながら時間内に炭を完成させることができませんでしたが、すべてのプログラムを協力して、取り組んでいた高学年チームの皆さん、また一緒に活動できる時を願っています。

焼き炭その後・・・

最後の完成の時を子どもたちと一緒に見る事ができなかった焼き炭を、スタッフが翌日窯出ししました。材料となる木はドラム缶いっぱいに入れたのですが、出来上がった炭はドラム缶半分ほどの量。ずいぶんと出来上がりが減るんです…。今後の森のがっこうで活用しましょうね！



たきの森のがっこう 申込受付中！

7時間目「森もりモチモチ餅つき」12/8(土)(締切 11/22)

8時間目「低学年：冬の森たんけん、高学年：ウィンターハイキング」

1/25(土)(締切 1/10)

参加費 3,000円(別途交通費がかかります)

※今年度ご参加いただいた方はお電話でもお申し込みいただけます。

HPでも情報を掲載中♪

滝野自然学園

検索



2 日前にはなんと雪が降っていました！



ブリキ缶を使って炭ができる様子を実験します。モクモクと最初は煙が。



どんな風に出来ているか興味津々。



次はいよいよ本番。みんなで材料運び。



今回使ったドラム缶です。



ドラム缶に木を詰めて…、窯の前で点火！



スタッフの説明を聞いてフォトオリエンテーションへ！写真を頼りに課題を解いていきます。



寒い中、スタッフが火の番。ありがとう！子どもたちからも差し入れがありました。



夜は低学年・高学年全員が集まって楽しい時間を過ごしました。



2 日目は室内で野生生物を題材にした環境教育プログラム。動物に見立てた小さな紙を鬼に見つからないように隠します。



2 つ作った炭窯のうち、残念ながら 1 つは炭になりませんでした、炭になる途中までの様子をのぞきました。カボチャも炭に成りかけ？



昼ご飯は石焼きいも～ ダッチオーブンに石を敷いて、炭で加熱すると、約一時間で美味しい石焼きいもの出来上がり！



活動の様子はインターネット写真展でも閲覧ができます。詳しくは別紙にて